

■特別講演

「高校生と Landsat と古代道路」

1) 日時・場所

2019年6月4日(火) A会場 16:00~17:00(60分間)

2) 司会

島田政信(東京電機大学 理工学部 建築・都市環境学系 教授)

3) 講演

講演1

演者: 中野不二男(京都大学特任教授、RESTEC 参与)

4) 概要

QGISの普及、衛星データの無償化、PCの処理能力の向上は、高校生によるリモセン学習のハードルを大きく下げた。飛鳥時代の古代官道・東山道と、東京都府中市に向かう武蔵路の分岐点は、現群馬県太田市にあったとされるが、完全には解明されていない。太田市立高校の生徒たちはこの疑問に2年がかりで取り組み、データ解析を学び、続日本紀の記述や土地利用の歴史を調査し、解明の糸口をつかんだ。衛星データと人文学という文理融合の学習が、リモセン利用分野と人材の拡大につながる事例である。本講演では、筆者が歴史と人文を切り口として若い研究者たちの掘り起こしにリモートセンシングを活用した事例を紹介する。